

国際看護研究会 第12回学術集会(第54回 国際看護研究会)

この度、独立行政法人国際協力機構（JICA）地球ひろばにおいて、国際看護研究会第12回学術集会（第54回国際看護研究会）を開催いたします。

国際看護研究会は今年度で14年目を迎え、学術集会は本年で12回目となりました。今回のメインテーマは、「国際看護学と人類学の融合」とし、基調講演を踏まえて2つのワークショップを企画しました。

本学会が、国際看護の実践あるいは国際看護学の教育に携わる看護職や、看護の国際的な活動に関心のある学生の方々との有意義な意見交換の場になりますことを期待しております。皆様の積極的なご参加を心からお待ちしております。

<プログラム>

【第1会場 3階講堂】

10:05-10:10 オリエンテーション

10:10-10:15 開会

10:15-10:50 基調講演

座長：森 淑江（群馬大学）

「国際看護学と人類学の融合」

第12回学術集会会長 宮菌 夏美（鹿児島大学）

11:00-12:00 一般演題（口演） 第1群「国際看護教育」

座長：大野 夏代（札幌市立大学）

O-1. 奈良医大における外国人看護師候補者受入れ努力と課題
勝井 伸子(奈良県立医科大学)

O-2. 国際看護学の効果的な教育プログラムの開発に関する研究
－国際看護学の教育を行う意義に関する質問紙調査(第2報)－
河原 宣子(京都橘大学)

O-3. 外国人看護師受け入れ病棟の現状
橋田 由紀(奈良県立医科大学附属病院)

O-4. STIKES 看護大学と Rajawali 病院の視察ならびに MOU 締結に向けての方向性
芝山 江美子(高崎健康福祉大学)

12 : 00－12 : 30 平成 21 年度国際看護研究会総会

12 : 40－13 : 20 一般演題（ポスター） 座長：宮崎 みち子（札幌市立大学）

- P-1. ロサンゼルスにおける在宅人工呼吸療法の小児の訪問看護の状況
生田 まちよ(熊本大学医学部保健学科)
- P-2. 活動報告:UMAP による短期在外教員の「国際化と助産師」講義に対する
学生の反応
金城 壽子(佐久大学別科助産専攻)
- P-3. ドミニカ共和国における予防接種率向上への取り組み
—バクターナ・レンジャーによる予防接種啓蒙活動—
田中 聖美(札幌市立大学看護学部)
- P-4. 介護保険制度下における外国人高齢者のケアマネジメント
—在日コリアン要介護高齢者の対応困難事例の分析より—
李 錦純(大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程)
- P-5. インドのスラム街における火傷の子どもを抱える養育者に関する研究
大山 美樹(特定非営利活動法人 HPT 訪問看護ステーションポット東)
- P-6. 外国人を対象とした健康相談に関する文献検討
大野 夏代(札幌市立大学看護学部)
- P-7. インドネシア共和国の看護大学と医療施設の視察報告と今後の課題
李 孟蓉(高崎健康福祉大学)

13 : 25－14 : 35 ワークショップ 1

「日本で外国人看護師と働く」：現場の声から聴き取れること

ファシリテーター：生田 まちよ（熊本大学）

【スピーカー】

- 外国人看護師との協働と現状

宮澤 美代子(医療法人社団 永生会 永生病院)

- 来日して学んだこと
デウィ・セップティヤスリニ(医療法人社団 永生会 永生病院)

14:40-16:10 ワークショップ2
「わかる、できる、異文化看護/国際看護」: 差異の中で協働すること
ファシリテーター: 嶋澤 恭子 (神戸市看護大学)

【スピーカー】

- 私にできる国際協力
高木 桜子(東邦大学医学部看護学科学生)
- 青年海外協力隊経験から学んだ事;国際看護に於ける異文化コミュニケーション
山本 千絵里(東邦大学医療センター大森病院)
- ラオスの助産と助産師の業務範囲を規定することへの協働
橋本 麻由美(国立国際医療センター国際医療協力局派遣協力課)

16:10-16:15 閉会
16:15-17:00 茶話会 * どなたでもお気軽にご参加ください。

【第2会場 3階セミナールーム301】

11:00-12:00 一般演題(口演) 第2群「看護の差異」
座長: 戸塚 規子(京都橘大学)

- O-5. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究
—大洋州で活動する青年海外協力隊の報告書からの分析—
長嶺 めぐみ(群馬大学)
- O-6. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究
—セネガルで活動する青年海外協力隊の報告書からの分析—
栗原 千絵子(群馬大学)
- O-7. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究

—ボリビアで活動した青年海外協力隊の面接と報告書からの分析—
宮越 幸代(長野県看護大学)

- O-8. 日本と開発途上国の看護の差異に関する研究
—メキシコで活動した青年海外協力隊の面接と報告書からの分析—
宮越 幸代(長野県看護大学)

12:00—13:00 昼食・休憩

13:00—14:35 一般演題(口演) 第3群「各国の看護実践報告」
座長: 高田 恵子(埼玉県立大学)

- O-9. 大洋州地域保健医療における包括的予防対策コースの報告
平佐田 和代(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)
- O-10. ドミニカ共和国青年海外協力隊活動報告
柳元 理恵(やまびこ医療福祉センター)
- O-11. フィリピンベンゲット州タバオにおける集団検診の参加率に関する研究
中田 りつ子(活水女子大学看護学部看護学科)
- O-12. タイのハンセン病患者へのセルフケア指導からの学び
木内 愛子(群馬大学医学部保健学科看護学専攻)
- O-13. ウズベキスタン共和国の小児病棟での活動報告
—小児看護の向上に向けたセミナーを開催して—
松本 みさと(熊本大学医学部保健学科看護学専攻)
- O-14. タイ王国の看護師である性同一性障害者への聞き取り調査
飯島 裕司(東邦大学医学部看護学科)

14:40—16:10 一般演題(口演) 第4群「母子保健」
座長: 芝山 江美子(高崎健康福祉大学)

- O-15. ホンジュラス共和国における伝統的産婆への研修についての報告
今福 まり(岩田産婦人科医院)
- O-16. 日本在中のインドネシア人からインドネシアにおける女性の地位や健康問題についての聞き取り調査
藤生 早耶香(高崎健康福祉大学)
- O-17. タジキスタン共和国国別研修「母と子のすこやか支援プロジェクト」

山岸 映子(石川県立看護大学)

O-18. 共に働くために必要なものとは

—フィリピン・レイテ島の保健センターにおける青年海外協力隊の活動実践報告—
十亀 亜都美(元青年海外協力隊)

O-19. 排泄時の消音行為と羞恥の意識—日本人女性と諸外国女性との通文化比較—

多賀 昌江(札幌市立大学看護学部)